




## 保険適用と保険適用外(自費)の入れ歯のちがい(部分入れ歯)

	金属床付きノンクラスプデンチャー (TUM, エステ)	金属床なしノンクラスプデンチャー (TUM)	保険適用デンチャー
			
費用	★★★★ (金属床併用タイプ)	★★ (金属床なしでも製作可能)	★ (保険適用)
装着感	★★★★ 金属床を併用すると <b>最も薄い</b> ので違和感が少ない	★★ 保険義歯と比べて <b>薄い</b> ので違和感が少ない	★ 厚みから違和感が出やすい
審美性	★★★★ 金属のバネを使わないので、入れ歯だと気づかれにくい	★★★ 金属のバネを使わないので、入れ歯だと気づかれにくい	★ 金属のバネを使用するため、入れ歯だと気づかれやすい
耐久性	★★★★ 金属床の併用でさらにUP	★★★ 金属床を使用しなくても強度が保てる	★ 自費の義歯と比較して劣化しやすい
メンテナンス	保険義歯と比較して構造が複雑なため、修理がやや困難となるケースがある		自費の義歯と比較して構造が単純なため、修理が容易なケースが多い
価格			

【TUMとエステショットの材質の違い】

- ・TUM・・・エステショットより丈夫だが、修理・調整が困難。
- ・エステショット・・・丈夫さはTUMに劣るが、TUMより修理・調整がしやすい。

詳しくはスタッフにお声かけ下さい♪